

平成22年 5月 9日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ
2次主冷却系Aループ タンクベーパーラップ出口温度低
警報の発報について
(お知らせ)

1. 発生日時： 平成22年 5月 9日（日）7時49分頃
2. 発生場所： 高速増殖炉研究開発センター
高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物（非管理区域）
2次Arガス系ベーパーラップ室（A）
3. 状況：
高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力28.0万kW）は、炉心確認試験中のところ、7時49分頃、「中央計算機警報」が発報いたしました。確認したところ、2次系タンクベーパーラップ出口温度低を示すものでした。
当該場所の温度は、通常120℃程度であり、2次アルゴンガスの排気による一時的な出口温度の変動によるもので、機器の故障ではありません。
なお、8時17分頃に警報はリセットしました。

環境及び炉心確認試験への影響はありません。

以上